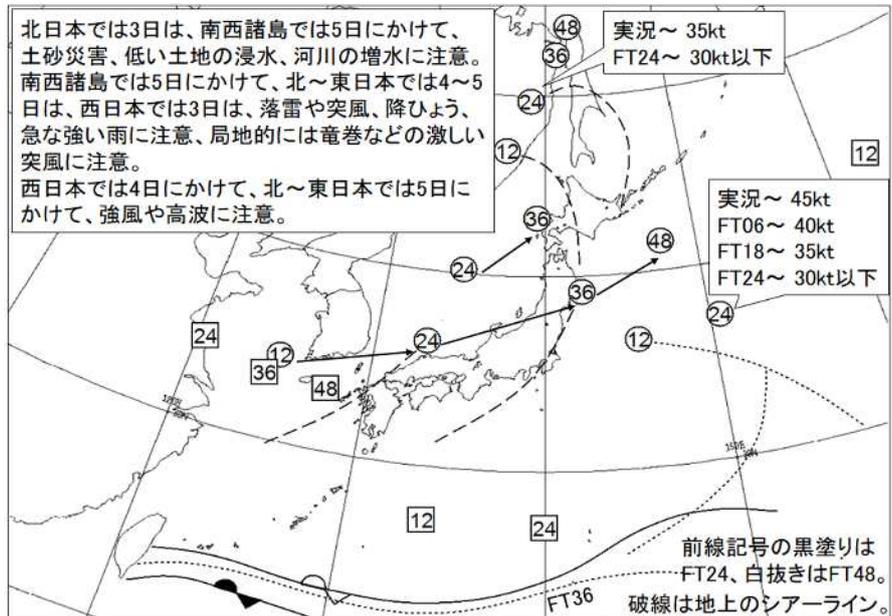


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5460m付近のトラフに対応して、沿海州付近を北東進する低気圧からシアーラインが北日本にのびている。北日本では強い雨を解析。
- ② 500hPa 5640m付近のトラフに対応して前線を伴う低気圧が日本の東を北東進。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で日本の東で雷を検知。
- ③ 500hPa 5580m付近で-18℃以下の寒気を伴うトラフに対応する低気圧が、華北付近を東南東進。



主要じょう乱解説図

- ④ ①～②の低気圧やシアーライン周辺では気圧の傾きが大きくなり、北～東日本ではやや強い風や強い風が吹き、波が高くなりしけている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項②の低気圧は、3日は日本の東を東北東進し、4日朝までに不明瞭になる。
- ② 1項①の低気圧は、3日は沿海州付近を北東進し、低気圧からのびるシアーラインが北日本を通過。低気圧やシアーラインに向かう下層暖湿気の影響で、北日本では強い雨が降り南東斜面を中心に大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意。
- ③ 1項③の低気圧は、3日は日本海西部へ、4日は東日本日本海側から日本の東に進み、低気圧からのびるシアーラインが、西～東日本を通過する。また、500hPa 5400m付近のトラフに対応して、3日夜までに日本海に発生する低気圧が4日は北海道付近に進み、500hPa 5460m付近で-21℃以下の寒気を伴うトラフに対応する気圧の谷が、4日夜～5日朝にかけて、北～東日本を通過する。上空寒気や低気圧や気圧の谷に向かう暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。落雷、突風、降ひょう、急な強い雨、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 500hPa 5820m付近の正渦移流に対応して、3日夜までに沖縄の南に前線が発生。この前線は4日にかけて先諸島付近～小笠原近海にのび、5日は、華中～東シナ海～日本の南～南鳥島にのびる。前線に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷、突風、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。
- ⑤ 2項②～③の低気圧やシアーライン及び気圧の谷、2項④の前線の周辺では、気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなる所がある。強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本とするが、量子想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- 4. 防災関連事項 [量的予報等]** ① 雨量(06時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 波浪(明日まで)：東北5、北海道・関東・伊豆諸島4m、東海3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。